



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

〈第四一二号〉

立春 りっしゅん

二月四日

## 建国記念の日

暦の上の春。立春を迎えました。一年で最も寒い冬が明け、太陽の光もまぶしく輝いています。そして、前日の節分行事でしっかりと豆を撒き、邪悪なものや災いを払ったこともあるのでしょうか、ことさら清々しい日に感じます。

立春から一週間後の十一日は、建国記念日という祝日です。もともとは、初代の神武天皇じんむが現在の奈良県橿原かしはらで即位された日と『日本書紀』が伝える太陽暦に換算して、明治五年（一八七二）に紀元節と名付けられ祝日となりました。しかし、太平洋戦争終戦後の昭和二十三年に廃止されますが、十八年後の同四十一年、建国記念の日として再び祝日として復活しています。紆余曲折のある祝日ですが、季語にもなっていて、俳句にも詠まれています。

むらさきの 山河建国 記念の日 井上弘美

いと長き 神の御名や 紀元節 池上浩山人

後山の 蘭にあそびて 梅佳節 飯田蛇笏

弘美のむらさきの山河は、大和国（奈良県）の風景と建国記念日を組み合わせた一句。浩山人は、神名の長いことに触れています。神武天皇の名も「神日本磐余彦」となかなかの長さがあります。そして、蛇笏だこうの「梅佳（花）節」は梅の花の咲き初める頃なので、戦前には季語として詠まれていたようです。

伊勢うどん 汁濃し建国 記念の日 太秦女良夫

という一句も見つけました。伊勢神宮にお参りに来ていたのでしようね。この日は、神宮の参拝者が多い日でもあります。

そろそろ梅の花がほころび始める頃、「とうふや」の白梅を見に行きたくなりました。

文 千種清美



# おかげの里便り

## おかげ横丁

### ○ 稲垣竜一作陶展

海をイメージして作られた「うみのいろ」は稲垣氏の代表的な作品です。広大な海、波のゆらぎなどが表現され、ひとつひとつ違う表情のブルーが魅力です。土と釉薬にこだわり、作家の思いが込められた作品の数々…。ぜひご覧ください。

日 時／2月3日（土）～2月18日（日）10：00～17：00

場 所／他抜きだんらん亭

### ○ ひなまつり 桃の節句市～凛と萌えいつる春～

春待ちの気分とともに、楽しみなのが「桃の節句」のひなまつり。女性にとって、健やかに過ごせることを喜び、幸せを願う、大切な行事です。そんな「桃の節句」を大人の女性にこそ、素敵な工芸作品とともに祝い、お楽しみいただきたい。

伝統工芸を受け継ぐ九人の女性職人グループ「凛丸」が、それぞれの工芸で表現します。

日 時／2月17日（土）～3月3日（日）10：00～17：00

場 所／赤福 本店別店舗

入場料／無料

お問い合わせ/おかげ横丁総合案内「おみやげや」電話0596-23-8838

## 五十鈴塾

### ○ 飛天双〇能特別企画「神宮と芸能」

天照大神が長旅を終えて五十鈴の川上に鎮まられた喜びの日、終夜に及ぶ宴楽歌舞がなされた『倭姫命世記』は伝えています。川のせせらぎが奏でる清爽の響きと森厳の場での祝宴は、きっと人々の心を魅了したでしょう。神宮と芸能との関係は、神事儀礼の面と、人々が大神への奉賛・奉納として心を形にされる面があります。後者の、伊勢猿楽三座、謡曲「絵馬」、近隣神社の獅子舞・翁舞などを中心にお話ししたいと思います。

日 時／2月5日（月）15：30～17：00

講 師／櫻井 治男（皇學館大学名誉教授）

参加費／一般 3,000円 会員 2,500円 ※30歳以下は無料

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

## 五十鈴茶屋

### ○ 五十鈴茶屋節気菓子

しら たま つばき  
白玉椿

椿の中で最も白く清楚に咲く白玉椿。山芋を使った生地でこし餡を包み、風格ある薯蕷(じょうよ)まんじゅうに仕上げました。

はる おとず  
春の訪れ

日差しの温もりとともに梅の便りが聞かれる頃です。香り高く春を待つ梅の花を外郎(ういろ) 生地に写しました。あっさりとした味わいをお楽しみください。

そう しゅん  
早春

こし餡と若草色のそばろに羊羹を重ね、春先の芽吹きを表現しました。ほろりとした生地の食感をお楽しみください。